

いわき民報
平市田町四八番地電三八一
編輯人 千輝克己
印刷所 日本印刷
定価 一月二十円 一部七十銭
発行所 いわき民報社

市民大衆の反撃鋭し

電話維持費の十五日の分は全選側が負擔すべきが至當
全選のストは市民に多大の反響を呼んだ。特に電話の利用が出来なかつた爲各加入者とも迷惑を蒙りかかるストは祖國再建の敵であり、大衆の敵でもあり、

この損害をどうする
陸上小運搬組合平班談
電話一つでお客の利用を得ていた當組合の荷馬車屋さん十五台とも非常な迷惑した。そのため一日に振つた始末でその被害は約七千五百円はストのためになつたと云つても過言でない、ましてや勝手なストで吾々を苦しめ且つ不通電話の分まで維持費をとるとすれば皮肉でありそれは全選側で負擔すべきだ、食えないのは誰しも同じ政府を攻撃するのだから無料電話や郵便を受付けて政府を困せてはどうかこの時始めて民衆も支持すると云ふものだ

民衆の敵といふべし
湯本町令泉産業會社談
ストに依つて生じた事業の影響こそ重大であり維持費の不拂などよりもっと大きな損害の繼續を要求すべきだ、大体ストと云ふものは大衆の支持があつて始めて成功するものだがその全選の指圖的立場にある幹部(一言氣の毒だが吾々を呈せざるを得ない、それは絶對吾々は若くは支持しておらないから必ず成功しないだろ)といふことである子供が死んだから知らせの電話を繼いでくれと甲斐んだ處が本當に子供が死んだらどうか信用出来ないと思つて張られて泣いた母親もある、これで全選をどうして支持出来るか、民衆に迷惑を掛けるストには反對である

反省を
安田銀行支店談
第三者である吾々に入つて取りつくと困つたものだ、特に銀行などの公共機関では全面的に迷惑を蒙つてをり本社や福島、仙台との連絡、紹介とも拒絶し取引客ばかりが大羽りした、維持費の不拂と云ふことも金額は問題外として市民の不満を物語る「プロメター」として全選側も良く反省すべきである

民報論壇
再建を拒む
全選のスト
全選平支部今回のストについては従業員の週週に對しては同情すべきものはあるとしても、事自體は從相對政府間の問題であつて一般大衆には直接無關係なものである、その無關係な一般

絶對支持
大和全選平支部委員長
これは大衆の反響に對して、スト中の電話料金不拂と云ふ加入者側の三分には何んとも申上げかねる、たゞ吾々は大家の支持を得ると云ふことは、これは深く考へてをり、また、事實支持を得ていると思ふ、炭券、配給公團などの組織體から陳中見舞も受けたり、或る者は良き吾々の立場を理解して呉れて僅かに十四日間ストでは効果が薄くも雖々行動されるに於ては安心して彼等がこの仕事を任せてくれることが出来たりなり民衆の反響は益々熾烈化するに必至であらう、今回のストに對しては、被害は莫大なものとならうが、これを金に換算すれば、害の責任は政府ではなくてスト側が背負うべきもので、先づ電話使用料の一分の

彼岸中のお天気は
中日は曇勝ながらも暖かいです
明十八日から一週間お彼岸に入るが小名瀬瀬候所では彼岸中の空模様を次の如く観測している、

配給統組の事務所移轉
市内紺屋町に在つた市配給統組事務所は、十四日市内古鍛冶町丸玉商店隣に移轉し、十八日より平常通り事務をこなすこととなる

女店員募集
最高給優遇日本人來談
湯本町第一紅山樓

早くお塩の特配
かて通知してある市配給の都合もあつたので、何故に大衆の反響を受けるか、それは自己本位で大家をわすれた罪と云ふべし、ストといふと自ら赤旗の旗を掲げるところに根本的誤りがあると知らずや

豪華演劇
水谷八重子 守田勘彌 一行實に四十五名
三月二十日(夜)二回
世界演劇部

中央會館
買入れ
高價
寶石 貴金屬 和洋服

松崎製作修理所
各種機械の更生に應じます
電話九一五番

櫻花に魁け
豪華演劇
水谷八重子 守田勘彌 一行實に四十五名
三月二十日(夜)二回
世界演劇部

中央會館
買入れ
高價
寶石 貴金屬 和洋服

松崎製作修理所
各種機械の更生に應じます
電話九一五番

櫻花に魁け
豪華演劇
水谷八重子 守田勘彌 一行實に四十五名
三月二十日(夜)二回
世界演劇部

中央會館
買入れ
高價
寶石 貴金屬 和洋服

松崎製作修理所
各種機械の更生に應じます
電話九一五番

